

2025 年度新専門医制度乳腺外科専門医研修カリキュラム募集要項

※毎年ご申請が必要です

以下の手順に従い、作成の上、期日までに、申請を行っていただけますようご協力をお願いいたします。なお、以前カリキュラムとして承認された内容の日本専門医機構のシステムへの登録につきまして、一旦見合わせていただく旨をご連絡しておりましたが、その後の進展がございません。進展がございました場合はお知らせいたしますので、それまでお待ちください。

1. 基幹施設の認定基準（一部抜粋。詳細は乳腺外科専門医・研修カリキュラム参照）

- 専門研修カリキュラム管理委員会を設置し、専門研修カリキュラム統括責任者を置いている。
- 専門研修指導医として日本乳癌学会認定の乳腺指導医が合計 1 人以上常勤する。（常勤とは週 32 時間以上の勤務実績と定義する。）
- NCD 施設会員として年間 100 例以上の登録による乳癌診療実績を有している。
※該当の術式は申請書参照
- 査読を伴う学術集会等（国際学会、全国区の学術集会、もしくは日本乳癌学会地方会）での乳腺診療に関する研究発表が年間 2 件以上行われている。
 - ・ 乳腺カリキュラム指導医（日本乳癌学会認定乳腺指導医/乳腺専門医）が筆頭もしくは共同演者に含まれること。
 - ・ 発表者（共同演者含む）、演題名、学術集会名、開催日を証明できる抄録などを PDF で別途提出する。
- 査読を伴う学術雑誌への乳腺診療に関する論文が年間 1 編以上発表されている。
 - ・ 乳腺カリキュラム指導医（日本乳癌学会認定乳腺指導医/乳腺専門医）が筆頭もしくは共同演者に含まれること。
 - ・ 発表者（共著者含む）、論文名、掲載誌情報を証明できる別冊などを PDF で別途提出する。
 - ・ 商業誌不可（一般向けの商業誌。「乳がんの臨床」[癌と化学療法]など、市販されている査読を有する医学誌は可）。
 - ・ 投稿要綱から、査読システムを確認できない病院誌は不可。

2. 専門研修カリキュラム統括責任者の基準

専門研修カリキュラム統括責任者は、以下の基準を全て満たすこと。

- 日本外科学会指導医
- 日本乳癌学会指導医
- 医学博士、または、査読を伴う英語による筆頭原著論文 3 編以上を有する。

3. 連携施設の認定基準（一部抜粋。詳細は乳腺外科専門医・研修カリキュラム参照）

- 専門研修カリキュラム管理委員会と連携する委員会を施設内に設置し、専門研修カリキュラム連携施設担当者を置いている。
 - 乳腺専門医が1人以上常勤している(常勤とは週 32 時間以上の勤務実績と定義する)。
 - NCD 施設会員として年間 30 例以上の NCD 登録による乳癌診療実績を有している。
- ※ 該当の術式は申請書参照

4. 日本乳癌学会認定施設の同時申請につきまして

今回の申請より、申請手続きの簡素化の為、基幹もしくは連携施設として承認された場合、希望すれば申請書を提出しなくても学会認定の認定施設としても認められることとなりました。

- ※ 2024 年 12 月で認定期間を失効する認定施設、もしくは旧関連施設(関連施設のみ 2025 年 12 月まで認定期間がある施設も含む)におかれましては、基幹施設、連携施設と承認された場合、認定料をお支払いいただければ、自動的に認定施設に認定されます。もし、認定施設の称号が不要なら、申請書 シート①において「2025 年からの認定施設の認定証は不要です」をご選択ください。「日本乳癌学会認定 認定施設、関連施設の認定期間」をご選択いただきますと選択できる項目が表示されます。不要を選択されない場合は、認定料を請求させていただきますので、ご留意ください。なお、審査後発行する請求書に記載するお支払い期限までに、認定料のお振込みが確認できない場合は、認定施設の認定につきましては、取り消しとさせていただきます。
- ※ 2024 年 12 月で認定期間を失効する認定施設、もしくは旧関連施設(関連施設のみ 2025 年 12 月まで認定期間がある施設も含む)におかれましては、複数の基幹・連携施設の申請書を提出する場合は、提出される全ての個々の申請書に同じ内容で入力してください。(不要の場合は、全ての申請書において「2025 年からの認定施設の認定証は不要です」を選択してください。)

<認定施設>

申請料：不要 認定料：2 万円 認定期間：2025 年 1 月から 2 年間

(認定施設は、認定料をいただいております。お振込みにつきましては、審査合格後ご案内いたします)

【基幹・連携施設に加えて認定施設として認められるメリットにつきまして】

基幹・連携施設は、専門医機構の制度に基づく、乳腺外科専門医の育成機関です。一方、患者さんや市民、社会向けに、乳腺診療の質を施設・個人レベルで保証する目的で、日本乳癌学会専門医制度では、認定医および認定施設を承認することになりました。また、認定施設は、しばらくの間、旧来の乳腺専門医（機構プログラム対象外の外科医、外科以外の専門領域）の育成の役割も担っていただきます。

5. 申請期間

2024 年 9 月 15 日（日） ～ 2024 年 10 月 31 日（木） 23 : 59

6. 提出書類

基幹施設

（1）乳腺外科専門医研修カリキュラム申請書

入力していただく項目は「注意事項」シートにてご確認ください

（2）カリキュラム統括責任者要件を確認する為の添付書類

①と②もしくは③の提出が必要です

①外科指導医選定証（必須）

認定予定でまだお手元にはない場合は、後日届き次第ご提出ください。その場合は事務局までメールでご連絡ください（office@jbcs.gr.jp）

②学位証明書

③乳腺診療に関する査読を伴う英語による筆頭原著論文 3 編《②を提出の場合は不要》

※2024 年度と統括責任者の変更がない場合は①外科指導医選定証のみご提出ください。

（3）基幹施設要件を確認する為の添付書類

①学術集会での研究発表の抄録(2023 年 2 件以上)

②査読を伴う学術雑誌への論文 PDF(2023 年 1 件以上)

2023 年の業績が不足する場合は、参考情報として 2022 年の業績も提出してください

連携施設 ※申請書は基幹施設経由でご提出ください。

（1）連携施設申請書

入力していただく項目は「注意事項」シートにてご確認ください。

7. 注意事項

（1）カリキュラム名は「〇〇〇〇〇乳腺外科専門医研修カリキュラム」としてください。〇〇

〇〇〇の部分は 18 字以内でお願いします

（2）留意いただきたい点は申請書内にコメント付記しています。参考にして下さい

（3）虚偽の記載が判明した場合には、施設の認定を遡って停止となる可能性があります

8.提出方法

- (1)連携施設は、申請書類を基幹施設にご提出ください。複数の基幹カリキュラムに所属する場合は、それぞれのカリキュラムの基幹施設にご提出ください。
- (2)基幹施設と連携施設の申請書類一式を取りまとめて基幹施設のカリキュラム統括責任者もしくはカリキュラム窓口担当者から一括で申請をしてください。
- (3)申請データは全てを 1 つの zip ファイルにして、以下のサーバーにアップロードしてください。
- (4)フォルダに「〇〇〇〇〇乳腺外科専門医研修カリキュラム」とカリキュラム名をつけてください。

<アップロード先 URL>

<https://jbcs.xdrive.jp/index.php/s/FL62JG3yLW42nYw>

アップロード方法については、別途「申請手順」をご確認下さい。

申請書類の確認が完了次第、受領メールを送信いたします。申請時期により、確認に 2 週間程度かかる場合もありますので、ご了承ください。

9.審査結果について

認定委員会ならびに専門医制度委員会の審査および理事会による承認後、12 月中に統括責任者の方へメールにてご連絡いたします。なお、2025 年 1 月から専攻医の募集を開始する予定です。

10.問合せ先

日本乳癌学会事務局 office@jbcs.gr.jp

ご不明な点がございましたら、ご遠慮なくお問合せください。なお、正確を期すために、電話でのお問い合わせはお控えください。

10.チェックリスト

		提出形式	ファイル名	備考
☐	乳腺外科専門医研修カリキュラム申請書	Excel	【基幹】施設名 例：【基幹】【乳癌大学附属病院】.xlsx	
☐	連携施設申請書	Excel	【連携】数字.施設名 ※数字は基幹施設の申請書式「⑥ 専門研修施設リスト」の専門研修連携施設のNo をご利用ください 例：【連携】1.〇〇クリニック.xlsx	
カリキュラム統括責任者要件を確認する為の添付書類				
☐	外科指導医選定証	PDF	選定証_統括責任者名	毎年提出が必要
☐	学位証明書	PDF	学位_統括責任者名	2024 年度と変更がない場合不要
☐	乳腺診療に関する査読を伴う英語による筆頭論文 3 編	PDF	論文 1_統括責任者名 論文 2_統括責任者名 論文 3_統括責任者名	2024 年度と変更がない場合不要。学位証明書の提出がある場合は、提出不要
基幹施設要件を確認する為の添付書類				
規定件数以上提出の場合（乳腺診療に該当するかなど審査に不安な場合）は、ファイル名の枝番号"-1""-2"を順に"-3""-4""-5"と付与して下さい。				
☐	学会発表の抄録	PDF	発表 1_施設名 発表 2_施設名	2023 年 2 件以上 (2023 年の業績が不足する場合、2022 年の業績も提出)
☐	論文のコピー	PDF	論文_施設名	2023 年 1 件以上 (2023 年の業績が不足する場合、2022 年の業績も提出)